

## 環境社会検定試験 (eco 検定) について

### 【資格の概要】

eco 検定は、幅広い知識を礎とし、率先して環境問題に取り組む“人づくり”と、環境と経済を両立させた“持続可能な社会づくり”を目的\*としています。

環境の知識は、限定された職種ではなく、製造業からサービス業、金融業など様々な職種で必要とされています。業種・業態を問わず、eco 検定を社員の環境教育のツールとして活用する事例が増えている\*ようです。

また、就職試験の一般教養、一部の公務員試験で環境の知識を問う問題が出題されるケースもあります。検定試験に合格していることが就職活動時のアピール材料にもなるでしょう。

\* 公式テキストによる。東京商工会議所編著（2014）『改訂4版 環境社会検定試験 eco 検定公式テキスト』日本能率協会マネジメントセンター

### 【試験内容】

出題範囲は公式テキスト\*に準じますが、最近の時事問題などからも出題されます。環境問題関連のニュース、環境省のWeb サイト、環境白書をチェックしていれば時事問題に対応できます。

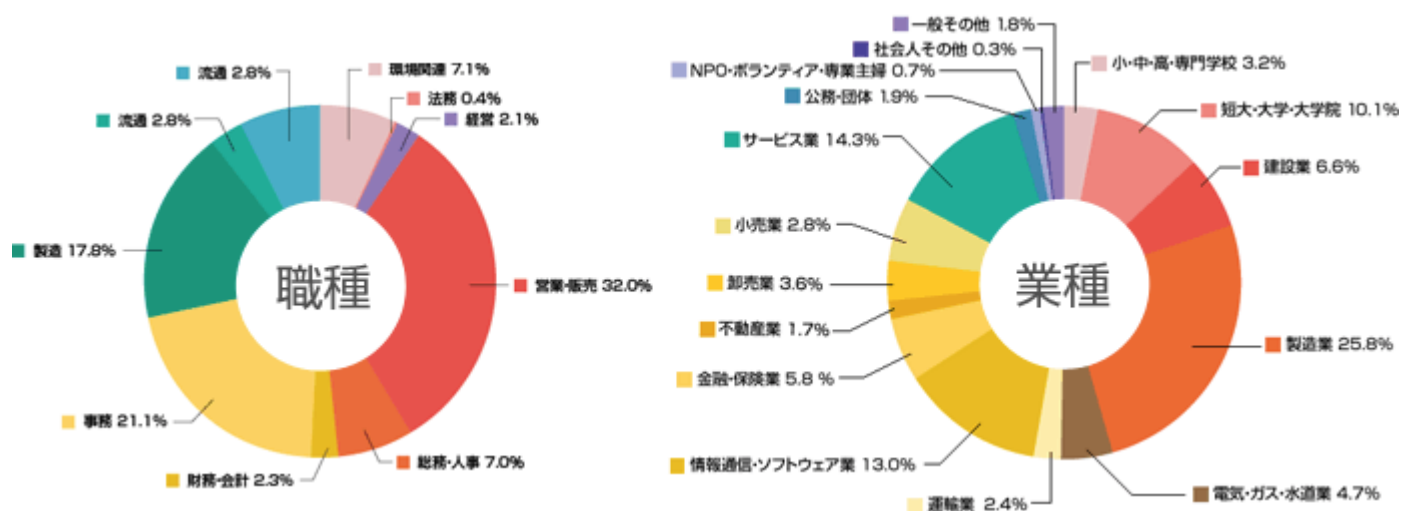
・マークシートによる選択問題 ・制限時間2時間 ・100点満点とし、70点以上で合格

### 【試験会場】

- ・全国各地（新潟県では、新潟、長岡などでも実施）
- ・検定料：5,000円＋税金 長岡大学には試験に合格すれば検定料程度が戻ってくるしくみがあります。

### 【合格率】

53.8%（2012年度 全国）。受験者の業種は下図参照。短大・大学・大学院が10.1%を占める。長岡大学でも合格者がでている。受験者の約8割が「社会人」、最も多い職種は「営業・販売」である。



出所：東京商工会議所のサイト <http://www.kentei.org/eco/> より一部情報掲載（アクセス日 2013年4月15日）

### 【関連する職業分野】

受験者の職種は、受験者中最も割合の多い順に製造業、サービス業、情報通信・ソフトウェア業、建設業、金融・保険業です。そのほかにも多様な職種の方が受験しています（2012年度\*\*）。\*\* 東京商工会議所 検定試験情報サイト <http://www.kentei.org/eco/>（アクセス日 2014年2月21日）

情報源：東京商工会議所のサイト <http://www.kentei.org/eco/index.html> より（アクセス日 2013年4月15日）

受験に関する参考サイト：長岡商工会議所サイト <http://www.nagaokacci.or.jp/>

エコピープル支援協議会サイト <http://www.eco-people.jp/>